

How to get the Academic Skills

大学生活だけじゃない！人生を支える

アカデミック・スキルズを身に付けよう！

2020年10月17日・18日
Freshman's Day
東京女子大学図書館

なぜアカデミックスキルが必要なのか

大学での学習は、知識を詰め込むことだけではありません。

自らが課題を設定し、根拠に基づいた考察をし、さらにそれを形にして表現(アウトプット)する必要があります。

「アカデミックスキルズ」は、そんな学習に必要な「大学で学ぶための基礎的技法」です。基礎をしっかりと身に付けて、大学での学びをより深いものにしましょう。

この冊子では、以下の流れでポイントやお薦めの資料を紹介していきます。

01

授業を受ける前に
確認したいこと

- ・ノートのとり方
- ・論理的な考え方
- ・本の読み方(クリティカル・リーディング)

02

情報収集の仕方

- ・情報収集とは
- ・図書から探す
- ・データベース(論文、新聞、辞書)から探す

03

情報整理の仕方

- ・情報を整理しよう

04

アウトプットの
仕方

- ・アウトプットの前に確認しよう ー情報リテラシー①ー
- ・アウトプットの前に確認しよう ー情報リテラシー②ー
- ・グループディスカッションに参加する
- ・レポートを書く①
- ・レポートを書く②
- ・レポートを書く③
- ・プレゼンテーションをする

05

おわりに

ノートのとり方

ノートを取る＝先生が話していることや黒板を書きうつすことだけではない。要点を捉え情報を構成し直したり、疑問や興味を持った点をメモしておくなど、自分自身の問いを見つけられるようにしなければならない。レポートや課題作成のヒントとなりうるノートを作るためにも、テクニックを身に付けよう。

参考となる資料



『大学生のための知的技法入門
第3版(アカデミック・スキルズ)』
湯川武／横山千晶(著) 佐藤望(編)
慶應義塾大学出版会、2020年2月

- 図書館に冊子体があります。
- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。

論理的な考え方

「考える」と言っても、知っている知識を思い浮かべるだけではなく、ばらばらな知識や情報に関係性を見出したり、推理を行い考えを組み立てたりすることが必要。筋道だった結論を導くことができ、レポートの執筆時にも役立つだろう。

参考となる資料



『大学生のための論文・レポートの論理的な書き方』
渡邊淳子(著)
慶應義塾大学出版会、2015年

- 図書館に冊子体があります。
- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。

本の読み方(クリティカル・リーディング)

文章の性質を明らかにし、それを的確に読み、解釈をするという作業は、あらゆる知的な活動の基本となる。自分なりに問題提起をし、考察に至る道筋を論理的に示せるようになるろう。

参考となる資料



『クリティカル・リーディング入門：
人文系のための読書レッスン』
大出敦(著)
慶應義塾大学出版会、2015年10月

- 図書館に冊子体があります。

情報収集とは

インターネットで収集できる情報は膨大だが、その中から自分の意見の根拠となる信頼性のある情報を選び取るのは難しい。信頼度の高い情報の集め方を知ろう。



その情報、正しい!?

参考となる資料



『調べるチカラ：
「情報洪水」を泳ぎ切る技術』
野崎篤志(著)
日本経済新聞出版社、2018年1月

- 図書館に冊子体があります。

図書から探す

これまでされてきた研究を体系的に知るには図書資料が有効。冊子体だけではなく、電子ブックも利用できる。

東京女子大学図書館で購入している図書を読もう

東京女子大学 OPAC

東京女子大学が所蔵している資料を検索できる。冊子体だけではなく電子ブックも検索可能。



電子ブックの使い方

決まったデータベースからアクセスするもよし、OPACで検索結果に出てきたものを見るもよし。



データベース(論文、新聞、辞書)から探す

スマホや PC で検索するのは簡単。でもどうせなら信頼性の高い情報が集められているデータベースから情報を探すほうが、自分の意見の信頼性を高めることに。本学の学生だから利用できる権利を最大限に活用しよう。

東京女子大学図書館で購入しているデータベースを使おう

資料の探し方ナビ

資料の種類別に代表的なデータベースの使い方を紹介。ここに載っているものは使いこなせるようになろう!



データベース一覧

東京女子大学が購入しているデータベース、自由に使えるデータベースの一覧。



↑スマートフォンで見ると画面を横にする、あるいはPC版のページにしてください!

情報を整理しよう

情報はただ集めればいいだけではない。集めた情報がどんな関連があるのか、結びつけることができるのかなど情報を再構築し、根拠となる情報を見つけ出そう。自分の意見を整理し、補強するための重要なステップとなる。

参考となる資料



『問題解決スキルノート：
5ステップで情報整理!』
桑田てるみ(著)
明治書院、2011年8月

図書館に冊子体があります。



『情報を集める技術・伝える技術
—情報社会の一員として備えておくべき
基礎知識—』
飯尾淳(著)
近代科学社、2011年8月

電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。

ここまで、講義を受け、資料をもとに情報を収集し、整理するという作業を終えた。ここからは、結果をまとめて発表する作業について触れていく。

アウトプットの前に確認しよう — 情報リテラシー① —

情報を発信したり、利用する際には気を付けるべきことがたくさん。「ルール」を守り、安全に情報を利用するために必要な知識や意識を身につけよう。「悪気がなかった」ではすまされない。自分の身は自分で守ろう。

参考となる資料



『情報倫理ハンドブック 2019年度版』
noa 出版(著)
noa出版、2019年

電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。



メールのマナー?著作権?
セキュリティ?



アウトプットの前に確認しよう — 情報リテラシー② —

レポートとして形にする、プレゼンテーション資料を作るとき、適切にソフトを使えるだろうか。文書や図表の作成、データの集計・分析、管理に必要な機能をマスターしよう。


参考となる資料

	<p>『情報リテラシー 総合編 Windows10 /Office 2019 対応』 富士通エフ・オー・エム 2020年</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 電子ブック Maruzen eBook Library で閲覧が可能です。
	<p>『Microsoft Office 2019 を使った情報リテラシーの基礎』 切田節子、新 聖子、山岡 英孝 近代科学社、2019年</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 電子ブック Maruzen eBook Library で閲覧が可能です。

グループディスカッションに参加する

グループディスカッションは、各自が持ち寄った多様な意見をまとめて結論を導き出すことが求められる。役割や手順を学び、基本を身につけておこう。

参考となる資料

<p>No Image</p>	<p>『ノート型テキストで学ぶ アカデミック・スキルズ』 市川紘美、山田昭子、与那覇恵子編著 鼎書房、2020年</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館に冊子体があります。
	<p>『大学生からのグループ・ディスカッション 入門：ワークシート課題付』 中野美香著 ナカニシヤ出版、2018年3月</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館に冊子体があります。

グループディスカッションは
大学の授業だけでなく、
就職活動でも必要になる場合が！



レポートを書く①

論文・レポートを書く技術は大学で必要なスキルの中で最も重要なものといっても過言ではない。思いつくだま書き連ねるのではなく、構成や流れを意識し、論理的に述べていく必要がある。レポートの「作法」を身につけよう。

参考となる資料



『これからレポート・卒論を書く
若者のために 第2版』
酒井聡樹(著)
共立出版、2017年7月

- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。
- 図書館に冊子体が
あります。



『思考を鍛えるレポート・論文作成法 =
Developing critical thinking to
write papers 第3版』
井下 千以子著
慶應義塾大学出版会、2019年

- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。
- 図書館に冊子体が
あります。

レポートを書く②

構成や流れはもちろん、表現の仕方や文法も工夫しなければわかりやすい文章とはならない。表現力も磨こう。

参考となる資料



『レポート・論文を書くための日本語文法 —
ここがポイント! :中上級~上級学習者対象—』
小森万里、三井久美子(著)
くろしお出版、2016年

- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。
- 図書館に冊子体が
あります。



『日本語表現力 —アカデミック・ライティ
ングのための基礎トレーニング—』
工藤 豊(著) 石塚 正英、黒木 朋興(編)
朝倉書店、2016年

- 電子ブック
Maruzen eBook Library
で閲覧が可能です。
- 図書館に冊子体が
あります。

レポートを書く③

インターネットからコピペしてレポートを書く大学生が増えているとか。コピペは「盗作」となり犯罪行為となる。正しい引用の仕方を覚えよう。

参考となる資料

	<p>『コピペと言われないレポートの書き方教室 — 3つのステップ：コピペから正しい引用へ—』 山口裕之(著) 新曜社、2013年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 電子ブック Maruzen eBook Library で閲覧が可能です。 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館に冊子体が あります。
	<p>『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』 藤田節子著 日外アソシエーツ、2009年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 図書館に冊子体が あります。

プレゼンテーションをする

作成したレポートや論文を、口頭で発表するプレゼンテーション。自分の言いたいことをわかりやすく正確に伝えるスキルが必要となる。

参考となる資料

	<p>『プレゼンテーション入門』 大出敦編著； 慶應義塾大学教養研究センター監修； 直江健介著 慶應義塾大学出版会、2020年8月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 図書館に冊子体が あります。
--	---	--

これまで「アカデミック・スキルズ」についてポイントと参考資料を紹介してきましたが、この基礎となる力がついていないかで、これからの大学生活が全く違うものになるでしょう。

自ら積極的に学ぶ姿勢でこれからもがんばっていきましょう！